

デジタル教科書構成案／地理的分野

第1部 第2章 日本の姿

第2章の問い 日本の位置や広がりには、どのような特色があるのだろうか。

評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と世界各地との時差を計算し、時刻を求めたりすることができる。	世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。

展開例

項 目	学習課題	本時の目標	指導のポイント
1. 世界の中での日本の位置	私たちが暮らす日本の位置は、緯度・経度で見た場合や、世界の他地域から見た場合、どのように表されるのだろうか。	(1) 世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解できる。 (2) 地図帳やデジタル地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな方法で説明できる。	・世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解させる。 ・地図帳やデジタル地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな視点から表す方法を考察、表現させる。
2. 時差でとらえる日本の位置	地球上の位置によって、時刻が異なるのはなぜだろうか。	(1) 世界各地の標準時はどのようなしくみで定められているのか理解できる。 (2) 地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察できる。	・世界の時刻はグリニッジ標準時が基準となっていて、旧グリニッジ天文台との緯度の差で各国の標準時が定められていることを理解させる。 ・地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察させる。
3. 日本の領域とその特色	海に囲まれた日本の領域には、どのような特色があるのだろうか。	(1) 排他的経済水域の意味を理解し、日本の領域と排他的経済水域の範囲を理解できる。 (2) 日本の領土を理解し、領土についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察できる。	・日本の領域の範囲を理解し、国土面積の10倍以上の排他的経済水域があることを理解させる。 ・北方領土や竹島、尖閣諸島について、歴史的な経緯や課題などを多面的・多角的に考察させる。
4. 都道府県と県庁所在地	日本の都道府県と都道府県庁の位置には、どのような特色があるのだろうか。	(1) 日本の都道府県と都道府県庁所在地名を理解できる。 (2) 都道府県の境界はどのような場所に定められているのか、多面的・多角的に考察できる。	・日本の都道府県と都道府県庁所在地名を理解させる。 ・都道府県の境界が定められている場所について、地理的な条件や歴史的な背景などから多面的・多角的に考察させる。